

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 注射筒・針用アダプタ 35384000

ネオシールドレバーロック

再使用禁止

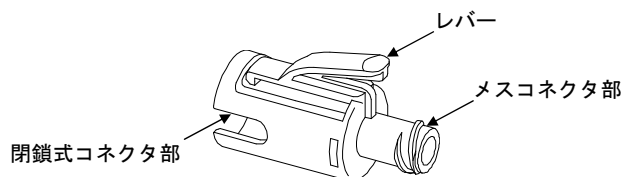
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

閉鎖式コネクタ部を有し、シリンジ等に接続するメスコネクタ部がある。

<構成>



*・本品には以下の原材料を使用している。

部位	原材料
閉鎖式コネクタ部	ポリカーボネート、シリコンゴム
メスコネクタ部	ポリカーボネート

<仕様>

項目	性能
気密性	50kPa

【使用目的又は効果】

注射筒又は注射針等をチューブ、コック、その他の構造に接続する器具をいう。

*【使用方法等】

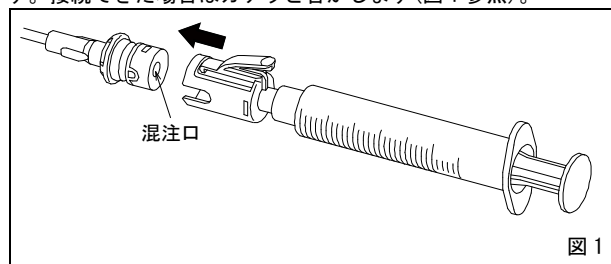
*1. 組み合わせて使用する医療機器

閉鎖式コネクタ部は以下の医療機器の混注口と接続して使用します。(以下、指定の混注口という。)

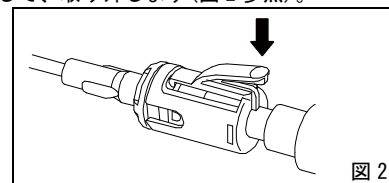
販売名	認証(届出)番号
ネオシールド輸液セット	225AABZX00017000
ネオシールドプラグ	34B1X00001000087
ネオシールドバッグアダプタ	34B1X00001000086
ネオシールドマルチスパイク	34B1X00001000096

2. 使用方法

- (1) 包装から本品を取り出します。
- (2) メスコネクタ部にシリンジ等のオスコネクタを緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
- (3) 接続する指定の混注口及びキャップ部を消毒用アルコール綿等で消毒します。
- (4) 閉鎖式コネクタ部を指定の混注口にまっすぐ押し込み接続します。接続できた場合はカチッと音がします(図 1 参照)。



- (5) ゆっくりと薬液の吸引又は注入をします。
- (6) 指定の混注口から本品を外すときは、レバーを図 2 の矢印の方向に押して、取り外します(図 2 参照)。



<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. メスコネクタ部にシリンジ等を接続する前に指定の混注口を接続しないこと。[メスコネクタ部から薬液が漏れるおそれがある。]
2. 本品メスコネクタ部に接続したシリンジ等は、本品から外さないこと。[メスコネクタ部から薬液が漏れるおそれがある。]
- *3. メスコネクタ部にシリンジ等を接続する際は、次のことに注意すること。
 - (1) シリンジはルアーロックタイプを使用すること。
- * (2) シリンジ等の傾きや回転不足に注意し、確実にかん合させること。[接続が不十分な場合、外れ、液漏れ及び空気混入が生じるおそれがある。]
- (3) メスコネクタ部のテーパに薬液が付着した状態で接続した場合は、接続部に緩みが生じるので注意すること。
- (4) 過度な締めつけをしないこと。[コネクタが破損するおそれがある。]
4. 本品に指定の混注口、又はシリンジ等を接続している状態で、横方向に過度な負荷を加えないこと。[各接続部が外れて薬液が漏れるおそれがある。]
5. 本品を鉗子等でたたかないこと、及び衝撃を与えないこと。[キャップ部等が破損するおそれがある。]

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 使用中は各接続部の緩み及び破損等について、定期的に確認すること。
- (2) 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマン油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤等を含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、メスコネクタ部のひび割れについて注意すること。[薬液によりメスコネクタ部にひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等のおそれがある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じるおそれがある。なお、過度な締めつけ及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- (3) ひび割れが確認された場合は使用しないこと。

*2. 不具合・有害事象

* (1) その他の不具合

空気混入、漏れ、外れ、緩み、亀裂、破損

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- (1) 水めれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 有効期間

- (1) 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806